

学校教育目標

「感性をみがき、未来を生きぬく力を育む学校」

校訓

「学ぶ響く琢く」

教職員の「心意気」

「高い志と深い愛情をもって 一人一人の生徒を大事にする学校をつくる」(どの学校よりも生徒たちを大事にする学校をつくる)
～ 幸せになるために生まれてきた全ての生徒たちのために 今の幸せを保障し 未来の幸せにつなげる学校にする ～

だから 授業や生徒と向き合う時間を大事にしてい

学ぶ

夢の広がる学校

探究力

- 個に応じた「ワクワクする、わかる、力のつく授業」を展開し、「探究的に学ぶ姿勢」を育み、「確かな学力」をつける指導の積み重ね。
- 市委嘱研究を契機とした3年間の継続的な授業改善と「非認知能力」育成と関連づけた学力向上のアプローチ。

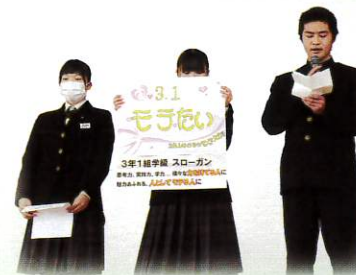


響く

心が響きあう学校

自治力

- 学級経営・学年経営、および生徒会活動等の学校内外における体験的な活動を通して自治力や社会力を高めるとともに、一人一人が安心して生活できる集団づくり。
- 学級活動の充実や「学級スローガン」の達成に向けた振り返り活動の重視等による人間関係づくりや所属意識の醸成。



琢く

活力に満ちた学校

挑戦力

- 自分の生き方や他者の存在を大切にしながら、一人一人の良さを最大限生かして前向きに挑戦する心身ともに健康でたくましい生徒を育てる。
- 「地域貢献」を軸にした総合的な学習の実践。
- 「パワーアッププロジェクト」による学習意欲・気力・体力の向上。



研究の目的

教員が授業力を向上させ、生徒が学びの満足感を感じるとともに、確かな学力を育むため

研究の全体構想図

学校教育目標 感性をみがき、未来を生きぬく力を育む学校

研究主題 各教科の「見方・考え方」を働かせ、自ら学びを深める生徒の育成

～「4つの力」を意識的に伸ばす単元デザインを通して～

- ※4つの力とは…
- ①まずはやってみよう!と動く力
 - ②自分のやり方を客観的に見直して続ける力
 - ③みんなと話し合い、協力する力
 - ④「誰かのため、社会のため」に活かそうとする力

【研究主題について】

予測困難な社会を生き抜く「自立した学習者」を育成するためには、生徒自身が学習を調整する力が不可欠である。各教科の「見方・考え方」を働かせながら自ら学びを調整し続ける生徒を育成することを目指す。

年間を通した取り組み

- ・毎週の教科部会を活用した「質の高い授業づくり」を継続するとともに、授業研究会において全職員で授業力向上を図る。
- ・職員研修を通して、授業理論についての理解を深める。
- ・市教委と連携した伴走型の実践研究を通して、指導力の向上を図る。

教科部会におけるPDCA

- ・NRTの分析と活用
- ・研究主題に沿った実践の共有
- ・他の先生の授業参観
- ・授業研究会に向けた指導案検討
- ・新たな指導法への挑戦
- ・S2の分析と活用

令和8年度生徒会スローガン



制作：佐藤 加奈
後藤菜々美
(平成27年度生徒会)

楯中生徒会のチーム名は「楯中Hornets(ホーネッツ)」。
Hornetsとは英語で「蜂」の意味。
蜂は集団で行動し、一匹一匹が集まると巨大な力を発揮します。
さらに、仲間を大切にします。

ACTIVE

「Active」は、「積極的」「前向き」という意味の言葉です。このスローガンに、楯中生全員が、積極的に生徒会活動に取り組み、ともに成長していこうという思いが込められています。一人ひとりが自分からアクションを起こしていける、活発な生徒会を目指していきましょう。

生徒会活動

思いやりの心を広げる 楯中生



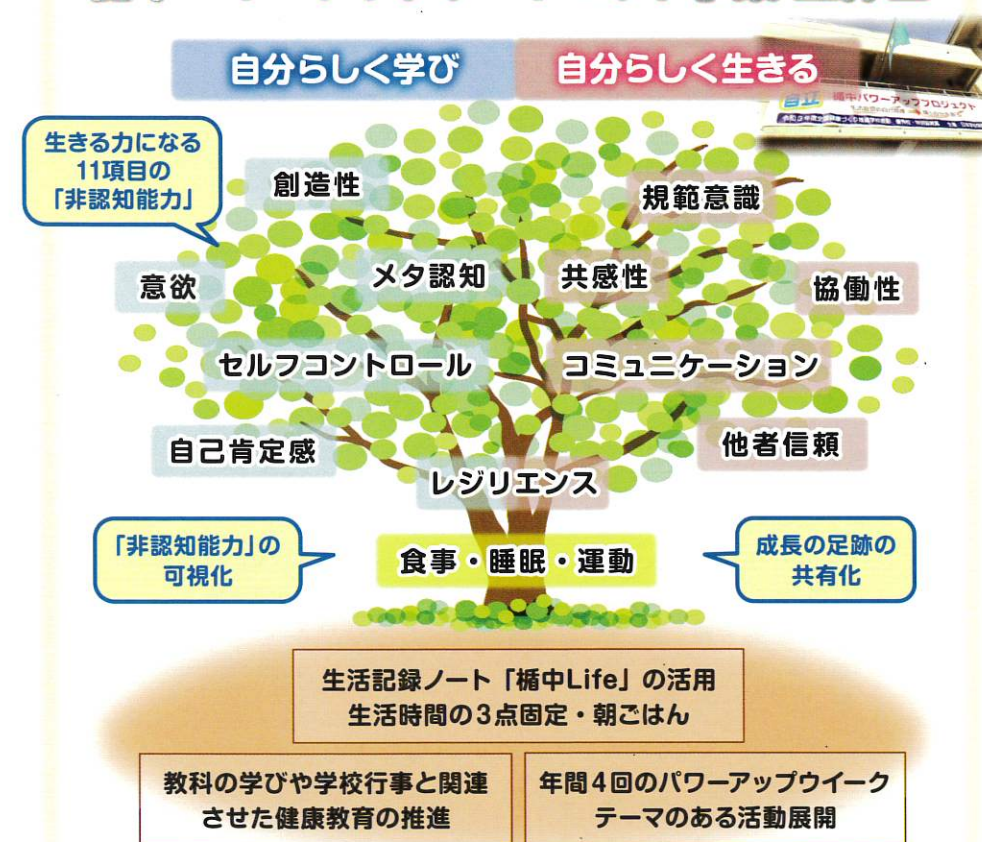
心と声を響かせる 楯中生



意欲と活気あふれる 楯中生



楯中パワーアッププロジェクト事業 全体図



四月	第二十二回入学式 前期始業式 PTA総会
五月	地区中継伝大会 修学旅行(三年生)
六月	地区中継伝 吹奏楽コンクール
七月	職業体験(二年生) 県中総体
八月	東北中総体 地区中継伝新人総体
九月	地区中継伝文化祭 資源回収
十月	運動会 三者面談・通知表配布 前期終業式・後期始業式 芸術鑑賞教室
十一月	上級学校訪問(二年生) 新入生入学説明会(児童) 生徒会任命式
十二月	吹奏楽アンサンブルコンテスト 新入生入学説明会(保護者) 公立高等学校前期選抜A 私立高等学校入試開始
一月	公立高等学校前期選抜B 公立高等学校一般入試
二月	立志式(二年生)
三月	公立高等学校一般入試 修了式 第二十二回卒業証書授与式

